

# 東の飛鳥周遊ルートプロジェクト

地域名 下野市

パートナー名 下野市文化財課

21班 コミュニティデザイン学科 松原咲来 三品行輝

建築都市デザイン学科 磯崎将太 齊藤智



## 背景・目的

下野市において飛鳥・奈良時代における東国の変遷を物語る重要な数多くの遺跡を観光資源として活用したまちづくりを進めるにあたり、シニア世代だけでなく、若い世代にも興味を持ってもらう必要がある。しかし、その最たるものである下野薬師寺跡への訪問者は高齢者と授業の一環で来た子供が多く、20~30代は少ない。

同じ課題を担当した去年の先輩方は、下野市全体を対象とした周遊ルートの作成・SNSを用いたプロモーション企画の提案をおこなったため、今年は自治医大駅から道の駅しもつけの範囲に絞った上で周遊ルートの作成を行う。去年のアンケート結果やマップを参考に、遺跡のみならず周辺の飲食店やカフェを盛り込んだ周遊ルートにすることで、若い世代にも興味を持ってもらえるようなものを作成し、これを提案とする。

## 分析結果

### 現地調査を受けて修正したルートのポイント

#### ①自治医大駅

地域パートナーである下野市側からの要望であり、周遊ルートのスタート地点となること。今回の周遊ルートは自転車を利用する前提のものであるため、まちの外部からの人が電車をを使って訪れ、そのまま駅の貸し出し自転車をすぐ利用することができる。

#### ②ブーランジェリー・リール

自治医大駅から道の駅までの中間あたりにある、おいしいと評判のパン屋。様々なパンやおしゃれな外装・内装が魅力であり、イートインコーナーやランチメニューもある。本課題のターゲットである若年層へのうけを狙う。

#### ③下野薬師寺歴史館・下野薬師寺跡

本課題の名称にも入っている「東の飛鳥」文化と地域一帯の歴史・遺産を知ろうとでも大切な位置づけとなる史跡。現在も発掘調査や研究が行われており回廊復元やアプリケーションを用いたVRによる飛鳥・天平時代当時の下野薬師寺の姿を体感することができる。史跡近くにある歴史館は発掘調査で発見された遺物や下野薬師寺の歴史にかかわる文献資料や展示、映像によって下野薬師寺について深く学べる場所であり、併せてルートのキーポイントとしている。

#### ④道の駅しもつけ

新4号線沿いにある道の駅。地元の新鮮な野菜やご当地物産をはじめとした販売施設、地元食材を活用した飲食を楽しむことができる。交流施設やイベント、バザー開催や露店もあり、ちょっとした休息からのんびりと過ごすまで利用方法はさまざまである。ルート巡りにおける休息や食事等に利用できる。

#### ⑤龍興寺

下野薬師寺と深いかわりのある寺院。境内には道鏡塚と呼ばれる円墳やとちぎ名木百選のシラカシがある。新4号線の近くにあるものの境内は静かで落ち着いた雰囲気であり、寺社や庭園が好きな人にはおすすめのスポットである。

## 方法

### ①事前調査

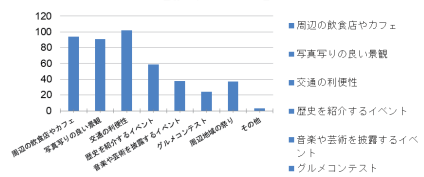
現地調査に赴く前に、調査をスムーズに進められるよう仮ルートを作成した。去年のアンケート結果(グラフ1)から周辺の飲食店やカフェを取り入れ、かつ地域パートナーからの要望である自治医大駅と道の駅しもつけを含めた仮ルートを作成した。仮ルートは自治医大駅等に設置してあるレンタサイクルに乗ることを想定した。

### ②現地調査

自治医大駅からレンタサイクルを利用し、実際に仮ルートを周遊することで、所要時間や周辺の様子、飲食店の立地について調査した。調査結果をもとに仮ルートを修正し、周遊ルートマップを作成した。

5. 史跡や歴史資料館に興味を持ってもらうために何が必要だと思いますか。

【複数回答可】



グラフ1 昨年のアンケート結果

## 提案

### ①周遊ルートの提案(図1、分析結果参照)

### ②既存のもの改善案提案

- 自治医大駅の自転車貸し出しの場所がわかりにくく、目につくような看板もないため初めて訪れる人が困惑する可能性がある。  
→分かりやすい場所に移動するか、駅構内に分かりやすい表示等をつける。
- ニュータウン開発された場所を抜けてしまうと歩道がほとんどなく路側帯も狭いため、車通りが多いと危険な目に遭う可能性がある。  
→道幅の確保やガードレールの設置などの対策をする。
- 道の駅に周辺観光案内があるものの分かりにくかったり目につきにくい場所にある。  
→多くの人の目につきやすい場所に、分かりやすく情報をまとめた新しい看板等を設置したり、情報スペースにもっと下野市に関する案内を増やす。



写真1 道の駅しもつけにある周辺案内図



写真2 ②Boulangerie Rire



図1 提案ルート



写真3 ⑤龍興寺